

広がるAIDS文化フォーラム

2018 報告書



AIDS文化フォーラム in 陸前高田

2018 11/18日

AIDS文化フォーラム in 佐賀

2018 5/26土→27日



Rikuzentakata



Yokohama

Kyoto

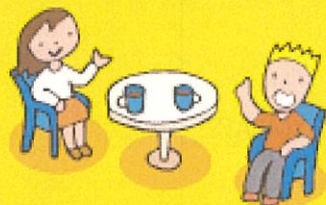
Nagoya

Saga



AIDS文化フォーラム in 横浜

2018 8/3金→5日



AIDS文化フォーラム in 京都

2018 9/29土(→30日)

AIDS文化フォーラム in 名古屋

2018 9/2日

入場・参加 無料！ 最新情報はこちら <http://abfs.red>

AIDS Bunka Forum in Saga



岩室 伸也
横浜 感染症科医長

古川 潤哉
佐賀 浄土真宗信託

医大祭

スペシャルゲスト
吉沢 明歩

第4回 AIDS文化フォーラムin佐賀
テーマ「エイズを知ろう、エイズで学ぼう」
HIV/AIDSを、青森周辺も含めた文化として考える・知る市民フォーラム
2018年
5月26日(土) 12:10~17:00 27日(日) 10:30~15:00
佐賀大学 鶴島キャンパス (佐賀大学医学部附属病院)
〒849-8501 佐賀市鶴島 5-1-1 TEL: 0952-31-6511
主催 AIDS文化フォーラムin佐賀 運営委員会
共催 佐賀県 患者サポートフォーラム、佐賀
後援 佐賀県医師会 佐賀県福祉 佐賀県看護士協会 西九州大学
九州地区エイズ予防推進協会 NPO法人ピルコン JICA九州
九州地区エイズ予防推進協会 佐賀女子短期大学 日本赤十字社佐賀県支部
AO・AQ・JA とびたてエイズセンターの会くまもと
Hivco/佐賀NPO法人結核予防会支部福岡支部



広がるAIDS文化フォーラム 2018報告書
2019年3月20日発行
発行 者 AIDS文化フォーラム in 横浜組織委員会
編 集 AIDS文化フォーラム in 横浜運営委員会
イラスト もたいひでのり
連絡 先 AIDS文化フォーラム in 横浜事務局
〒231-8458横浜市中区常盤町1-7 横浜YMCA内
Tel 045-662-3721
E-mail abf@yokohamaymca.org
URL <https://abf-yokohama.org/>

この報告書は公益財団法人エイズ予防財団「平成30年度エイズ予防財団助成事業」の助成を受けて作成しています。

広がる AIDS文化フォーラム 2018報告書

AIDS文化フォーラム in 佐賀	・・・・・・・・・・	P4
AIDS文化フォーラム in 横浜	・・・・・・・・・・	P6
AIDS文化フォーラム in 名古屋	・・・・・・・・・・	P8
AIDS文化フォーラム in 京都	・・・・・・・・・・	P10
AIDS文化フォーラム in 陸前高田	・・・・・・・・・・	P12
各地に広がるAIDS文化フォーラム	・・・・・・・・・・	P14
広域連携ミーティング		
広がるAIDS文化フォーラム		

AIDS文化フォーラム in 佐賀

2018 5/26 (土) - 27 (日)

エイズを知ろう エイズを学ぼう

会場	佐賀大学 鍋島キャンパス (佐賀大学医学部附属病院) (佐賀市鍋島5-1-1)
参加者	582人
プログラム	発表 11 展示ブース 3団体
ボランティア	55人
主催	AIDS文化フォーラム in 佐賀 運営委員会
共催	佐賀県 思春期ネットワーク佐賀
運営	AIDS文化フォーラム in 佐賀運営委員会

AIDS文化フォーラム in 佐賀を振り返って

(1) 開会式・閉会式

第4回AIDS文化フォーラム in 佐賀は、佐賀大学医学部の学園祭「医大祭」との合同開催で企画。大隈会長のビデオメッセージに始まり、AIDS文化フォーラムの開催意義「エイズ・HIVを単に医療的側面からだけでなく、他人事でもなく、私を含めて生きる文化的な背景として考える機会とする」を、全体で再確認しました。

(2) 分科会

5/26は「医大祭」の野外メインステージにて、吉沢明歩さんのトーク・ライブを開催。5月の暑い日差しの中、専門家によるミニ・レクチャーもあり、学園祭に参加した市民や医学部学園祭に関係する医学生が、聴講する機会となりました。

分科会は5/26と5/27に分散し医学部講義棟で開催。

九州各地で活動している団体や、国際的にエイズ支援活動を行っているJICA企画の発表、LGBTの支援・啓発に取り組む学生団体の発表、HIV感染当事者の発表など、多彩な発表がありました。

(3) 展示

展示は3団体。JICAと佐賀県の展示は講義棟1階に。

2階フロアに「広がるAIDS文化フォーラム」のパネル展示を行いました。

講義棟入口にはJICAの旗が置かれ、学園祭に来場した高校生および保護者が熱心に見学されていました。

また、学園祭のメインステージ側には、ジミーハットリ君が動く展示として、来場者に向けてPR活動を行い、講義棟側への人の流れができました。

(4) 広域連携事業「広がるAIDS文化フォーラム」

昨年度の横浜、京都、名古屋、陸前高田、佐賀開催報告の「広がるAIDS文化フォーラム」パネル展示と各地の報告書を配置し、全国との協力をアピールしました。



AIDS文化フォーラム in 横浜

2018 8/3 (金) - 5 (日)

#リアルとつながる

会場	かながわ県民センター（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）		
入場者	5,355人		
プログラム	発表 45	展示ブース 13	ワークショップ、お茶席、書籍コーナー タイアップ・イベント 1（Rock the Middle vol.6 6/30下北沢）
イベントボランティア	70人		
主催	AIDS文化フォーラム in 横浜組織委員会		
共催	神奈川県		
運営	AIDS文化フォーラム in 横浜運営委員会		

AIDS文化フォーラム in 横浜を振り返って

(1) 開会式・オープニング

エイズをリアルに感じられなくなっている今、HIV陽性の登壇者から感染を知った背景やエイズの今と昔の違い、ユーチューバーのかずえちゃんからは性的マイノリティとしての立場からリアルへの伝え方など、それぞれのストーリーを通じてHIV感染者やLGBTという枠ではなく、当事者一人ひとりの日常があることが語られました。

(2) 主催プログラム

「ネット時代のリアルコミュニケーションを語る」「ドラッグから見えてくる若者のリアル」「性犯罪のリアルに迫る」「つながりから考える薬物依存症」「三ツ矢雄二と語るセクシュアリティ&コンドーム」、LGBTs セクシャルマイノリティの言葉を紡いだ記録映画「私はワタシ over the rainbow」上映、キリスト教、仏教、神道の宗教家による「宗教とエイズPart13」「パワハラ、モラハラ、セクハラ、ラバハラ？—恋人間のハラスメントって—」「メディアの向こうのリアルとつながれ！～想像力を培い直そう～」 「夜回り先生 水谷修講演会」など11講座、HIV/AIDSの基礎講座「すきまミニ講座」を毎日1回開催し、オープニングから満席が出るほど多くの来場がありました。ネットワーキング・パーティでは来場者、登壇者、参加団体、ボランティアなどが交流を深めました。

(3) 分科会

若者・教育・保健医療福祉・国際・PWA/H・LGBT・性・薬物等の視点から多様な発表が行われ、エイズを取り巻く様々な状況がリアルに語られました。「進歩する治療、完治しない現状、深めたい社会の理解」「色々な子どもたちへの性教育」「性暴力とSNS-ネット社会を生きる子どもを守る」ほか性被害を取り巻く現状の発表も多く、多くの若者が参加しまし

た。「神様がくれたHIV」「ぼくがゲイの牧師でよかったこと」「AV現場での性感染症予防の取り組み」など当事者が語る発表はほぼ満席でした。例年の1.7倍の2000を超す感想が寄せられ、リアルとつながり自分事にした参加者から大きな反響がありました。

(4) 展示プログラム他

11の展示ブースでは、スタンプラリーを実施。ワークショップコーナー、茶道部によるお茶席、書籍コーナーで関連図書の販売とAIDS文化フォーラム25周年記念切手シートの販売を行いました。

(5) 広がるAIDS文化フォーラム

県民センター1階ロビーで「広がるAIDS文化フォーラム」パネル展を開催し、来館する方々に広くパネルを見てもらうことができました。閉会式・全大会では横浜、京都、陸前高田、佐賀、名古屋のAIDS文化フォーラム関係者とともに、来場者みんなで手をつなぎ、次のフォーラムを誓い合いました。毎年AIDS文化フォーラムに発表者として登壇していた洪久夫さんを偲び、洪さんのHIV/AIDSやフォーラムとの関わり、そこでの絆などを振り返り、AIDS文化フォーラムの価値を分かち合う時を持つことができました。



AIDS文化フォーラム in 名古屋

2018 9/2 (日)

Ribbonを繋ごう！ in NAGOYA

会場	鯉城ホール（名古屋市中区栄1-23-13）
参加者	約350人
プログラム	講演 5 展示ブース 12
イベントボランティア	延べ50人
主催	AIDS文化フォーラム in _NAGOYA組織委員会（委員長 籠谷倫親）
運営	AIDS文化フォーラム in _NAGOYA運営委員会

AIDS文化フォーラム in 名古屋を振り返って

（1）運営委員会企画 『Ribbonを繋ごう！ in NAGOYA』

コーディネーター：岩室紳也：レッドリボン

スピーカー：富田正美（ハーレーサンタCLUB名古屋 代表）：オレンジリボン

白井長興（NPO法人シェイクハートプロジェクト代表理事）：イエローリボン

今枝朱美（一般社団法人Families Change 副理事）：アイボリーリボン

近藤八津子（名古屋YWCA スタッフ）：パープルリボン

岡田美春（NPO法人バースデー健身代表）：ピンクリボン

AIDS予防啓発のレッドリボン、児童虐待防止のオレンジリボン、障害者社会参加支援のイエローリボン、面会交流支援のアイボリーリボン、女性へのDV防止のパープルリボン、乳がん早期発見・早期治療のピンクリボンという6色6名でトークセッションをしました。各色のリボン運動は一見まったく別の問題をテーマにしていますが、根底ではたくさんの共通点があることを聴衆の皆さんに伝えることができました。

『人と人の繋がりが大切』『他人事を自分事にすることが大切』という感覚はあるものなかなか実現するのが難しいのは何故だろうか？という問題の本質に迫り、聴衆の皆さんにより良い社会像について考えるキッカケを与えることができました。

多くの問題のすべてに対して自分事として取り組むのはとても難しいことです。だからこそ、1つのリボンの運動でもいいので支援をして欲しいと思います。なぜなら、すべてのリボンは繋がっているからです。1人1人の思いがしっかりと繋がって、温かい社会になることで人々の『居場所』ができて、様々な問題の根本的な解決に繋がると 생각합니다。

25周年のAIDS文化フォーラム in 横浜で開催した『Ribbonを繋ごう！ in YOKOHAMA』と連動し、計8色10名のリボンと横浜と名古屋が繋がりました。

(2) 講演

『勘違いはもうやめよう』

国際医学生連盟日本 SCORA、一般社団法人日本薬学生連盟、岩室紳也

『他人事をジブンゴトに...』

富田正美(ハーレーサンタCLUB名古屋 代表)

『車椅子はいつも前に進む』

白井長興 (NPO法人シェイクハートプロジェクト代表理事)

『「つながり」で変わることを、変えられること』

岩室紳也

(3) 展示会場

12団体が展示を出展してくださいました。

ホールがとても広かったため、座席後方にもブースを展示することができたので、出展者も講演を聞くことができたのはとてもよかったです。

(4) 広がるAIDS文化フォーラム

佐賀、横浜、京都、陸前高田との協力で広がるAIDS文化フォーラムのパネル展示を行いました。各地のフォーラムに参加してつながりを作ることができました。



『Ribbonを繋ごう！ in YOKOHAMA』

『Ribbonを繋ごう！ in NAGOYA』

AIDS文化フォーラム in 京都

2018 9/29 (土) - 30 (日) 台風接近のため30日は中止となりました

レッドリボン大作戦

会 場	同志社大学 新町キャンパス 尋真館 (京都市上京区近衛殿表町新町通今出川上ル近衛殿表町159-1)		
入場者	300人		
プログラム	講演 36 (内2日目の22は台風で中止)	展示ブース	17
イベントボランティア	37人		
主 催	AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会		
共 催	京都府 京都市		
運 営	AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会		

AIDS文化フォーラム in 京都を振り返って

(1) 全体会1

「3年間でHIV陽性者の生活の何が変わり何が変わらないのか
～Futures Japanのウェブ調査結果から」

放送大学客員教授、HIV Futures Japan プロジェクト代表 井上洋士
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス代表理事 高久陽介

陽性者の現状を伝えていただき理解を深めることができました。
“共に生きる”メッセージが発信されました。

(2) 全体会2 【中止】

「みんなで 話そう！ HIV/AIDSのこと」～北澤豪『元サッカー日本代表』

①ミニレクチャー「今、エイズってどうなってるの？」高折晃史（京都大学病院 医師）

②トークライブ 司会：澤田 南（フリーアナウンサー）

北澤豪、高折晃史、白野倫徳（大阪市立総合医療センター医師）

(3) 分科会

HIV感染症の基礎知識から、性の多様性の理解、学校での適切な性教育、陽性者同士の活動
さらに薬物からの回復など、さまざまな講演がありました、予防と同時に、多様性を認め合
える寛容な社会の実現への取り組みが発表されました。

(4) 広域事業「広がるAIDS文化フォーラム」

横浜、陸前高田、佐賀、名古屋のAIDS文化フォーラムの展示を行い、広がりを紹介しまし
た。また、各地のフォーラムの講師が京都のフォーラムに多く参加し、連携することができ
ました。



AIDS文化フォーラム in 陸前高田

2018 11/18 (日)

ともに生きる 誰もが住みやすいまちに
(ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくりイベント)

会場	アバッセたかた パブリックスペース (陸前高田市高田町館の沖1)				
参加者	300人				
プログラム	講演 1	トークセッション 1	講座 1	ライブ 1	展示ブース 3
イベントボランティア	延べ60人				
主催	陸前高田市				
運営	AIDS文化フォーラムin陸前高田運営委員会				
協力	岩手県大船渡保健所、一般社団法人陸前高田青年会議所 陸前高田市保育所(園) 父母の会連絡会、市民ボランティア FMねまらいん87.5MHz、アバッセたかた、母袋秀典				

AIDS文化フォーラム in 陸前高田を振り返って

(1) プログラム

- ◆オープニングセミナー「タフな子どもの育て方」
陸前高田市ノーマライゼーション大使、ヘルスプロモーション推進センター代表 岩室紳也
- ◆クロストーク① 変わる「つながり」
～どうつながればいいかわからないから デートDV、虐待、LINE外し?～
ウィメンズクリニック・かみむら 院長 上村茂仁
BLTいわて 神作真衣、佐々木佑佳、千葉麻美
岩手医科大学 助教、陸前高田市はまかだ運動推進アドバイザー 佐々木亮平
- ◆クロストーク② YouTuberかずえちゃんに聞いてみよう!!
日本はLGBTが住みやすい?住みにくい?
ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくりの視点から
かずえちゃん、陸前高田市副市長 岡本雅之、岩室紳也
- ◆すきま講座 シンボルリボンクイズ!! リボンの色の意味 いくつ知ってる??
秘忍者 ジミーハットリ君
- ◆Special Live ～僕らにできる事～
まっと

(2) 広域事業「広がるAIDS文化フォーラム」

佐賀、横浜、名古屋、京都、陸前高田のAIDS文化フォーラムの展示を各地のAIDS文化フォーラムからの参加者と連携して展示することができました。

「はまってけらいん かだってけらいん運動」

陸前高田市未来図会議では、市民一人ひとりが様々なストレスと上手に付き合うために、日常生活（買い物、農作業、病院など）のあらゆる場面、様々なイベント（地域の行事や祭など）などの機会にはまって（集まって）かだる（語る）ことで、お互いの経験や情報を共有し、少しずつ余裕を身につけて行くことを目指した運動を展開しています。

「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり」

陸前高田市では、一人ひとりが、自分自身の、そして相手の、障がい、年齢、セクシュアリティ、病気、国籍といった個性を意識することのない、誰もが暮らしやすい、住みやすいまちづくりを進めています。



各地に広がるAIDS文化フォーラム 広域連携ミーティング

2019 2/24 (日)

日時 2019年2月24日 (日) 13:00~15:00

会場 横浜中央YMCA (横浜市中区常盤町1-7)

出席 10人 (佐賀：1人 陸前高田：1人 京都：1人 横浜：7人)



AIDS文化フォーラムの今後と広がるAIDS文化フォーラム地域連携について

(1) 2018年の開催状況について

各地の開催について情報交換を行いました。2018年は5カ所で開催することができました。各地域で開催する効果として以下の点があげられ、AIDS文化フォーラムの広がりだけでなく、深まりについても期待が語られました。

- ・他地域のフォーラムに参加することで、参加できなかった分科会に参加でき理解が深まる。運営方法も学べる。人とつながることができる等々、地域連携により企画運営がさらに良くなっている。
- ・同じ内容の発表や同じ講師でも、地域で異なるカラーが出ている。
- ・年間を通じて、エイズについて考える機会を作ることができている。
- ・「文化」フォーラムにふさわしく、様々な切り口による当事者に出会い、頭ではなく現実のこととして、自分事にする機会を提供できている。

(2) 2019年の開催について

- ・佐賀→横浜→名古屋→京都→陸前高田と「全国リレープログラム」を実施したい。
- ・世の中には様々なNPO,NGO,活動があるが、一つ一つがつながっていない現実もある。AIDS文化フォーラムの「つながり」をNPM (Non Profit Movement) へと発展させたい。

(3) 広がるAIDS文化フォーラム 今後の地域連携、協力の仕方について

- ・各地のAIDS文化フォーラムで顔を合わせることはありましたが、主催・運営をしているとなかなか時間を割くことができません。広域連携ミーティングが持て大変良かったので、来年も是非開催したい。
- ・今後の地域連携の一つとして組織体制の強化に取り組む。必要に応じて各地域の運営委員会を活用し、さらに運営機能を高めていくこととします。
- ・全国の運営委員のMLを作成し、情報共有をさらに進めます。いずれFacebook等で全国がつながる場を作ることも考えたい。
- ・各地域のボランティアや地域特性、自主性を尊重した動きはこれからも大切に、連携していくことを確認しました。



広がるAIDS文化フォーラム

「HIVの感染経路を問わず、HIV/AIDSのみならず社会を取り巻く状況を多様に文化の視点で考えていく」ことを特徴として、各地域で地域の特徴を生かしたAIDS文化フォーラムを開催しています。

横浜

1994年8月横浜で開催された第10回国際エイズ会議をきっかけに、市民の手で市民のために手弁当で始まったフォーラム。
第1回は9日間開催。2回目以降は毎年8月第1金曜日から3日間開催。

2018年8月 第25回 開催

京都

AIDS文化フォーラム in 横浜の経験を活かし2011年10月に第1回を開催。以降毎年秋にフォーラムを開催している。基本の柱として「エイズ問題の啓発」「多様性を理解すること」「ともに生きること」を掲げている。

2018年9月 第8回 開催

佐賀

AIDS文化フォーラム in 横浜のコンセプトに共感、共有した佐賀のメンバーで運営委員会を設置。全国4番目の開催地として第1回AIDS文化フォーラム in 佐賀を2015年2月に開催した。

2018年5月 第4回 開催

陸前高田

2005年 陸前高田青年会議所、陸前高田市、大船渡保健所がAIDSに関するイベントを開催。その後、2010年まで6回開催。AIDS文化フォーラム in 横浜 運営委員等との交流が始まる。


2011年3月 東日本大震災でAIDSイベントは中止となったが、AIDS文化フォーラム in 横浜のオープニングで「陸前高田の今」として現状を報告、改めてAIDSを超えた絆が確認される。2013年 AIDS文化フォーラム in 陸前高田として、AIDSに関するイベントが3年ぶりに復活。

2018年11月 第6回 開催 (AIDSイベントとしては12回目)

名古屋

2016年 AIDS文化フォーラム in 横浜に出展したG Hrmitt Club のキャラクター「秘忍者ジミー・ハットリ君」が、広がるAIDS文化フォーラム開催地4カ所に参加。各地域のつながりや手法を活かし、組織委員会、運営委員会を組織、2017年9月 第1回を開催。

2018年9月 第2回 開催



広がるAIDS文化フォーラム

2019年の予定



★ AIDS文化フォーラム in 佐賀 2019 **6/8** (土)

.....

★ AIDS文化フォーラム in 横浜 2019 **8/2** (金) - **4** (日)

.....

★ AIDS文化フォーラム in 名古屋 2019 **9/8** (日)

.....

★ AIDS文化フォーラム in 京都 2019 **10/5** (土) - **6** (日)

.....

★ AIDS文化フォーラム in 陸前高田 2019 **秋** (予定)